女と男の情報紙
HIMAWARI
Women & Men Information

ひまわり

Vol.33
2022.3.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
子どもと「性」の話をしましょう。
今必要な「包括的性教育」とは？



写真「ひまわり」　竹林　雅春さん（肥塚）撮影

第16回 熊谷市男女共同参画推進表彰

昨年12月に開催した「第42回フォーラムくまがや2021」において、男女共同参画の推進に貢献する取組が評価され、四つの事業所が表彰されました。本表彰は、熊谷市男女共同参画推進条例に基づき、平成18年度から実施しており、男女共同参画社会の実現に向け、積極的に男女共同参画の推進に関する取組を実施している市民及び事業者を表彰するものです。（順不同）

社会医療法人 熊谷総合病院

院内に24時間対応の保育施設を設け、子育て中の職員が安心して仕事と育児を両立することができる環境づくりに取り組んでいます。また、全ての職員のスキルアップのための研修費用を負担し、新たな職域を目指す職員に対し、必要な資格の取得支援をすることで、職員のモチベーションアップと女性の職域拡大につなげています。



社会福祉法人 熊愛会 愛隣保育園

育児休業・介護休暇支援を充実させながら、超過勤務にならないよう柔軟に勤務体制を整え、仕事と家庭の両立を図っています。また、「埼玉県多様な働き方実践企業」認定制度のゴールド認定を受け、熊谷市初めての保育園として、長きにわたり女性が自分に合った働き方を選び活躍できる職場づくりに取り組んでいます。



学校法人 清武学園 幼保連携型認定こども園 荒川こども園

資格を有する女性が、資格と能力を活かして働き続ける職場環境づくりに取り組んでいます。子育て中の職員の勤務時間の弾力的取扱や再雇用、ノー残業デー実施など、家庭生活と仕事の両立に向けた柔軟な働き方を推進しています。また、職員にとって煩雑だった事務手続きをICT化し、事務の効率化を図るなど、ワーク・ライフ・バランスの推進を行っています。



医療法人 くぼじまクリニック

女性管理職について、事務職部門においても登用するなど積極的に女性の職域拡大を図っています。また、男性職員の育児休業取得支援、育児休業復帰後の本人の希望による配置転換などにより、「埼玉県多様な働き方実践企業」認定制度のゴールド認定を受けています。



子どもと「性」の話をしましょう。今必要な「包括的性教育」とは?

日本の多くの人が思っている「性教育」は、「性に関する知識…妊娠・出産・避妊・性感染症の予防など」についてです。
「包括的性教育」とは、国際的に広く認知・推進されている「性に関する知識・スキルだけでなく、人権やジェンダー観・多様性・幸福について学ぶ概念」です。
国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の「国際セクシュアリティ教育ガイダンス(International technical guidance on sexuality education)」が国際的な指針となっています。
国際セクシュアリティ教育ガイダンスでは、世界の性教育の基準を5～8歳・9～12歳・12～15歳・15～18歳の年齢別レベル1～4に定めています。
日本では、令和2年6月11日の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において、「性犯罪・性暴力対策強化の方針」が決定されました。
子どもたちが、性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないよう、「生命(いのち)の安全教育」を推進しています。

性の話を5歳から? 何から始めれば良いの?

子どもたちのこころとからだを守るために
「自分のからだは自分だけのもの」
「自分だけのだいじなところ」
「プライベートゾーン」について話しましょう。
「プライベートゾーン」とは水着を着ると隠れる部分・口と顔のことです。

※1



文部科学省のホームページから、子どもの発達や成長に合わせた「生命の安全教育教材」資料を見ることができます。

子どもは遊びの中で自分や友だちのからだに触れることが多くあります。
そんな時は「プライベートゾーン」について話す良い機会かもしれませんね。

それはなぜ必要なの?

性被害は、こころとからだに長期にわたり深刻な影響を及ぼします。

※2　内閣府の調査研究では、男女合わせて約24人に1人、女性の約14人に1人が性被害に遭っています。顔見知りからの被害が多く、被害の1割が小学生以下で、男の子の被害もあり、何年も経ってから被害に気づくこともあります。「プライベートゾーン」について正しく知ることは、被害者にも加害者にもならないために大切なことです。

※3



※4



「イヤ!」と言ってよいことや「いやな気持ち」を大人に相談することも伝えましょう。

早いうちからの性の話は寝た子を起こす?

「寝た子を起こす」という意見や「性に奔放になる」といった指摘が気になる方もいるかもしれません。

科学的根拠(エビデンス)に基づいた情報は、性的な活動を遅らせたり、避妊法の使用率が増えるなど、世界各国で性にまつわる様々なリスクを減らす効果が確認されています。

今回ご紹介したものは一部ですが、包括的性教育は、幼少期から始まる継続的な教育です。子どもの年齢や成長に合わせて繰り返し行われるものです。



「包括的性教育」と「男女共同参画」

「包括的性教育」はセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(SRHR)「性と生殖に関する健康と権利」を確立するための重要な概念です。

日本のセクシュアリティ教育の開始は遅く、内容的にも希薄であることが現状です。

子どもたちに正しい知識と考え方を伝えることは、子どもたちや若者が健康と福祉を促進し、人権とジェンダー平等を尊重し、安全で幸福な人生を選択することにつながります。

参考図書

子どもと性の話をする時に役立つ参考図書です。

性の絵本
みんながもってる たからものって なーんだ?
絵　：たきれい
監　修：高橋幸子
出版社：KADOKAWA



「おしえて!くもくん」
プライベートゾーンって なあに?
監　修：小笠原和美
制　作：サトウミユキ
出版社：東山書房



※1・3・4出典　文部科学省　生命の安全教育教材(幼児期)
https://www.mext.go.jp/content/20210416-mxt_kyousei02-000014005_30.pdf(参照2022年2月7日)

※2参考　内閣府 男女共同参画局「若年層における性的な暴力に係る相談・支援の在り方に関する調査研究事業」報告書
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/pdf/jakunen_chousa_report.pdf(参照2022年2月7日)

輝いてます！ 街で出会ったいきいきさんをご紹介します

「いつも近くにラグビーを」



Webマガジン「&rugby」代表
原田 友莉子さん

ラグビーワールドカップ2019（以下W杯）開幕の2年前、原田さんはラグビーチームを有する大手自動車メーカーに勤務していました。しかし希望したラグビー関連の部署への異動が叶わず、退職。

大好きなラグビーに関わる仕事を探していた原田さんの目に飛び込んできたのは、「熊谷市W杯推進室任期付職員募集」の文字。すぐに応募し、2018年4月からW杯終了まで、熊谷市の職員として、W杯一色の日々を送ることになるのです。原田さんが任されたのは、ファンゾーンの企画運営。そして、ワールドカップ開催地としての熊谷をどうやって盛り上げるか考えるという事でした。持ち前の発想力、行動力を活かし、周りの人を巻き込みながら、構想からお披露目発表まで3か月という驚異的な速さで生まれたのが、スローガン「スクマム！クマガヤ」と、スクラムを組む白熊、スクとマムでした。スクマムは、熊谷のいたるところで来場客をお迎えし、熊谷のW杯を盛り上げました。そしてW杯が閉幕した今も、ラグビータウン熊谷を象徴する存在となっています。

W杯後の原田さんは、新たな活躍の場を模索していました。そんな時思い出すのは、企画運営を担当し、ラグビー通からにわかファンまで、一緒にラグビーを楽しんだW杯熊谷ファンゾーンの風景でした。

「私は、ラグビーファンに寄り添う場所を作りたい。コロナ禍で集まるのが難しいなら、オンライン上に作ればいい。」こうして立ち上げたのがWebマガジン「&rugby」。高校・大学・リーグワン、様々なクラスのラグビーを精力的に取材し、勝ち負けだけではないストーリー・選手・チームの魅力を伝えています。また「ラグビーはルールが難しい」という声を聞き、オンラインラグビー勉強会も開催。ラグビー初心者から、今更聞くに聞けないというベテランラグビーファンまで、楽しく学ぶ場となりました。

こうした企画力・発信力が買われ、現在はラグビーチーム埼玉ワイルドナイツのホームページやファンクラブ会報に掲載される選手たちの活動レポートも任されています。

「&rugby」。ラグビーと共に歩む原田さんの活動はまだまだ広がり続けています。



全国高校ラグビー大会の取材
（大阪・花園ラグビー場にて）

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（DV）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

◆ハートピア相談室　☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（偶数月）	10:00～11:30
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回　第4金曜日（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回　第2・第3水曜日（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも、無料・秘密厳守）



「石絵」 大谷 陽子さん（銀座）の作品

募集

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真、そのほかの作品を募集します。

★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は問いません）。

※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、ご了承ください。

★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地 ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048-599-0011
・FAX　048-599-0012

編集後記

今回の特集はいかがだったでしょうか。ご意見、ご感想は様々だと思います。私自身も、考えさせられるテーマでした。編集作業中には、特集についての話題を通じ、我が家の子どもたちと『知っていることで回避が可能な危険』について、話をする機会を持つことができました。

子どもたちは、性について私たち大人世代とは全く違った環境下で育っているということは言うまでもないでしょう。また、学校教育の現場においても、アプローチに変化が見られてきています。まずは、私たち大人が学びや理解を深めることで、子どもたちにとっても安心できる社会となるのではないかと思います。（坂東）

〈編集員〉
秋元 留美子　井上 紀子　坂東 輝美
吉澤 啓介　吉田 知重子

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキ

■発行日　令和4年3月1日（年2回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.33は、71,500部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり5円です。